

東扇島におけるコアジサシ *Sterna albifrons* の繁殖

佐野 悦子・松原 迪郎
野鳥班大師河原グループ

Breeding of the Common Tern, *Sterna albifrons* : Rediscovery in Higashi Ohgishima

Etsuko Sano, Michio Matsubara

Wildbird Group of Daishigawara.

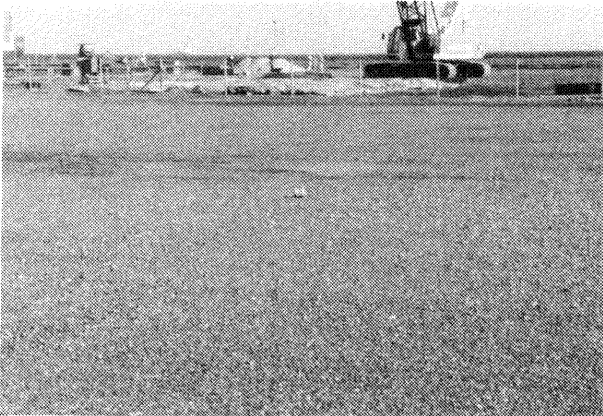
コアジサシ *Sterna albifrons* は東京湾岸でも繁殖が確認されているが、近年その営巣場所が開発や護岸のため極めて少なくなり、環境庁の絶滅危惧種Ⅱ類の指定種となっている。川崎市内においては、1990年に東扇島の産業廃棄物処理場で繁殖の確認が報告されて以後、1999年に隣接する浮島で繁殖の確認が報告された。しかし本年、浮島では降雨と整備工事の為に繁殖に失敗し、その後が心配されていたが、今回、東扇島において整備造成工事中の土地の一部で繁殖が再確認されたので簡単に報告しておきたい。

観察場所

川崎区東扇島 南西部の埠頭予定地

東西約240m 南北約100m

埋立地の表土として碎石を使用、未舗装、材料集積場・駐車場及び作業場の一部として使用中



営巣場所 (繁殖終了後) (12, IX, 松原)

観察者 (野鳥班大師河原グループ)

佐野悦子・小野木日出雄・倉部昭二・黒河 監・長沢
勲・藤森貞晴・松原迪郎・吉澤秋彦

観察記録

地上で休息中の成鳥約150羽の中に、抱卵中らしい個体を見つけるも遠方のため未確認。付近にコチドリ *Charadrius dubius* も見られた (営巣中か)。

30. VI. 2000. 黒河, 長沢, 倉部, 小野木, 松原.

抱卵中の個体を確認。付近に卵殻の壊れたものがあつたが、孵化後のものか、外敵に襲われたものかは不明。

7. VII. 2000. 倉部.

群の個体数約500羽となる。抱卵中の親鳥を確認したが、抱卵個体数は確認できず。

15. VII. 2000. 倉部, 吉澤.

群の個体数約600羽、その中に抱卵中の個体確認、個体数不明。近くにウミネコ *Larus crassirostris* 約100羽を確認。

16. VII. 2000. 長沢.

飛行中を含め個体数約700羽となる。抱卵個体の確認は出来なかったが、卵を確認。

休日のため、早朝からラジコンの飛行機を操作する人々が多く、営巣場所近くで模型飛行機を離発着させるため、親鳥も落ちついて地上に降りることが出来ず直ぐ上空に舞い上がる。

20. VII. 2000. 吉澤.

孵化直後の雛1、卵2を確認。コロニーの外縁部で散乱している卵殻の破片を発見、孵化後のものか、外敵によるものかは不明。

近くでラジコン模型を操縦中の人達にコアジサシのコロニーのあることを説明、コアジサシを驚かすことの無いよう協力を求める。

23. VII. 2000. 吉澤.

成鳥，幼鳥合わせ1000羽以上の群となる。雛11羽と卵多数を確認。他に抱卵中の成鳥数羽を観察。コロニーの隣にウミネコ *Larus crassirostris* 約400羽が観察される。

27. VII. 2000. 倉部.

朝、成鳥，幼鳥合わせ約2200羽、雛及び卵を多数確認。雛も大きくなり境界を侵し、隣の親鳥に追い戻される姿なども観察された。雛の数は望遠鏡視野に一度に8～9個体が入り、卵の数もかなりの数が見られる。ウミネコ約1330羽。またコロニー上空に侵入するウミネコに対してコアジサシがモビングで追い払う姿も観察された。

28. VII. 2000. 倉部. 黒河.

成鳥，幼鳥合わせ約1300羽、雛15羽、卵を確認。雛は日中の暑さのためか嘴を開けて親鳥の翼の陰に潜り込むようすが観察された。

29. VII. 2000. 倉部.

成鳥，幼鳥合わせ約1500羽、雛10羽、卵を確認。他にシロチドリ *Charadrius alexandrinus* の雛5羽を確認。

30. VIII. 2000. 長沢.

親鳥が雛に給餌をするのを確認。

5. VIII. 2000. 吉澤.

成鳥，幼鳥合わせ約100羽に減少、雛8羽を確認。

8. VIII. 2000. 倉部.

上空を成鳥20羽、地上では雛も卵も確認できず。

11. VIII. 2000. 吉澤.

上空を成鳥10羽、営巣地に入り調査したが雛も卵も確認されず。繁殖は終了したものと断定し観察を終了する。

12. VIII. 2000. 倉部

謝 辞

本記録をまとめるにあたり、ご指導下さった国立科学博物館名誉研究員の千羽晋示氏、ならびに浮島，東扇島の記録を開示頂いた日本野鳥の会の浜口哲一・田村俊幸の両氏に厚く御礼申し上げます。

参考文献

金井 裕・磯部清一 (1990) 東京湾岸におけるコアジサシの繁殖コロニーの分布, *Strix* 9: 177-190

田村俊幸 (2000,9) 2000年夏 川崎区でのコアジサシの繁殖 (未発表資料)

「追記」 本稿締め切り後、日本野鳥の会、田村俊幸氏から浮島及び東扇島の調査資料をいただいた。今後の資料とさせていただきます。



孵化後間もない雛と卵 (23. VII. 吉澤)



雛に給餌をする親鳥 (5. VIII. 吉澤)